



## 「人を大切にする」行動を

加古川市人権啓発推進員協議会 会長 浜田 時子

今年度、会長を務めさせていただく事になりました。皆さまには何かとお世話になりますがどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、市推協も同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解決に取り組んでまいりました。なかでも、各地域で開催されました町内懇談会は市推の皆さまを中心に関係者のご尽力で、市内全域で開催できましたことは、私にとりましてもこの上ない喜びでございました。

けれども、いまだに同和問題に関する誹謗中傷や偏見は後を絶ちませんし、急激な社会の変化に伴いさまざまな問題が生じてきています。特にインターネット上の誹謗中傷や権利侵害は人の命を奪うほどの大きな社会問題になっています。

この4月1日からインターネット上の誹謗中傷や権利侵害情報に対する対応を強化するための法律が施行されました。これは私たちの活動の後押しにもなると思いますが、一番大切なのは私たち一人一人が根拠のない無責任な書き込みや言動に対して厳しい目を向け

ることではないでしょうか。

「人を大切にする」「相手の立場になる」よく耳にする言葉です。人権教育・啓発には基本となる大切な言葉ですが、日常生活の中で生かされているだろうか自分自身の心に問いかける毎日です。

2年前のある小学校の卒業式でのことです。卒業生が一人一人将来なりたい人をテーマに一言ずつ発表していましたが、ある一人の男子児童は「ありがとうと言われる人になりたい」と言っていました。私は心がとても温かくなったのを鮮明に覚えています。

今、子どもたちに「ありがとうと言いましたか？」や「感謝の気持ちをもちましょう」と教えることはあります。「ありがとうと言われる人になりたい」は、まさしく人を大切にする行動が伴って生まれる言葉です。

今年度も、348名の市推の皆さまと共に行動できる市推協でありたいと思っております。誰もが尊重される温かい加古川市のまちづくりに頑張りましょう。

### 加古川市人権啓発推進員協議会（市推協）役員紹介



副会長  
藤原 一朗



副会長  
槌田 実



副会長  
坂田 亨



副会長  
姫田 泰隆



会計  
小林由美子

# 2025(令和7)年度総会

5月22日(木)午後7時より、加古川市人権啓発推進員協議会総会をSHOWAグループ市民会館中ホールで開催しました。本年度は市推348名中291名の方に参加していただきました。

総会は例年のように、浜田会長による挨拶で始まり、岡田市長の来賓挨拶、永年活動者表彰と続きました。その後2024年度事業報告・決算報告並びに監査報告、2025年度役員・事業(案)・予算(案)が承認され、新年度の体制と事業が始まりました。本年度の市推共通テーマは「同和問題の解決を核とした『人権を大切にすまちづくり』をめざして 一気づきから行動へー」です。

市推の活動は、お互いの人権を守り、差別のない明るいまちづくりをすすめる大切な仕事です。全員で協力し合い本テーマに取り組んでいきたいと思ひます。



【総会であいさつする浜田会長】

〔野口南小学校区 土屋 数馬〕

## 第1回全体研修 ～市推の役割と活動内容～

総会に引き続き同会場にて、本年度第1回の全体研修会が開催されました。本研修会では、人権文化センター指導主事よりパワーポイントのスライドを使用した懇切丁寧な説明によって、市推の役割や活動内容についての理解を深めるとともに、今後の啓発活動の方向性についても示唆されました。



【人権啓発推進員ハンドブック】

研修会では、市推の活動内容が紹介され、特に校区ごとの研修会や町内懇談会の企画運営が重要な役割を果たしていることが強調されました。さらに、研修会では、実際の啓発活動に役立つワークショップが行われ、不明点や疑問について参加者同士の意見交換を通して、より効果的な啓発方法についてのアイデアが共有されまし

た。参加者からは、「地域社会における人権意識の向上に向けて、より実践的な活動を展開していきたい」との声が多く寄せられました。

今後も私たち市推協は、市推の皆さまとともに、人権尊重の社会づくりに向けた研修や啓発活動を積極的に進めてまいります。



【第1回全体研修会の様子】

### I 人権啓発推進員の役割と活動内容

加古川市人権啓発推進員 職務、市推員の活動は、お互いの人権を守り、差別のない明るいまちづくりをすすめる大切な仕事です。

市の条例「加古川市人権啓発推進員に関する条例」にもとづき、市民に対する人権啓発の推進を図ります。

人権啓発の目標は「人権文化に寄与」として、人権に対する「関心」を育みます。また、いじめのない環境による「くやしい」思いを人に伝えたいを旨とすべく、あらゆる差別の無い社会をつくることも大きな目標です。

＜人権啓発の推進を図るためには＞

- 1 自己研修・・・自己研習を主として、人権啓発の役割を正しくつとめます。
  - ・人権について、自分の知識として伝える・学ぶ。
  - ・研習し、新しい知識を身につける。

【活動内容】

  - ・研修会等を通じて学びます。
  - ・人権啓発の推進員・指導員・指導員・アドバイザーの研修会等。
- 2 身近な実践・・・日常生活の身近なことから実践することです。
  - ・身近なことから実践し、働き、話し、伝える実践。
  - ・家庭が、若い若者の生活や行動に実践している。
  - ・地域、組織やサークルで……一人一人の関心を高め、支えあっている、個性を尊重して実践している。

【活動内容】

  - ・暮らしの現場、家庭、仕事、職場やサークルで「人権文化に寄与」ことを実践し、より、そのことが、行動が身近な実践、人権啓発の推進員となる。
  - ・研修会や実践とは、より多くの人に、正しく伝えよう。
- 3 研修会の実施・・・人権啓発の推進員、研修員を育成することです。
  - ・研修会の開催(研修)の開催
  - ・研修員が研修員となり、研修会の開催に努める。

【活動内容】

  - ・研修員の人権啓発のリーダーとして、研修員(研修)の研修を推進し、研修員を育成する。

【ハンドブック内容】

〔尾上小学校区 小杉 高司〕

# 永年活動者表彰を受けて

## 市長表彰

平岡南小学校区 鈴木 孝 さん

人権啓発推進員としての活動が8年を超え、この度岡田市長より感謝状をいただきました。

以前は世の中に色々な差別がある事は想像しておきながら、自分の周りには特に目立った差別などなく、どこか他人事のように感じていました。しかしながら、色々な講演など聞かせていただいたり、また人権啓発ビデオなど見せていただきますと、具体的な事例として差別が行われている事を知り、ごく身近な問題であると感じるようになりました。

身近で差別があった時正しく指摘できるように、今後も機会ある毎に講演など聞かせていただきながら、人権意識を高めていきたいと思っています。

また、人権啓発推進員として地域の皆様に対して人権問題に関する情報提供や啓発活動にも努めていきたいと思っています。



【市長表彰の様子】

## 会長表彰

別府西小学校区 田中 伸一 さん

ほぼ四半世紀 24 年間、市人権啓発推進員として活動させていただきましたが、本当にあつという間に過ぎていきました。

少年団の役員を引き続きで当時の町内会長から依頼されて先輩から温かく迎えてもらって続けることができました。

私は活動の中で、常に相手の気持ちになって話したり、接することを心がけてきました。そして何よりも大好きな加古川市の為、何か少しでも私に出来ることがないかという思いで活動してきました。

今回人権啓発推進員は、退かさせていただきましたが、加古川市の人権施策には今後とも微力ながら協力させていただこうと思っています。また、地域でも身近なところから人権啓発に励みたいと思っています。みんなが、笑顔で過ごせる地域になることを願って挨拶とさせていただきます。



【会長表彰の様子】

## 2025年度 市長感謝状を受けられた皆様

品川 裕二(加古川(篠原町)) 福田 恵理和(加古川(鳩里)) 濱崎 恵子(鳩里) 姫田 泰隆(東神吉南)  
杉岡 信義(浜の宮) 鈴木 孝(平岡南) 藤井 義博(志方東) 有馬 彰人(野口北)

～加古川市人権啓発推進員の委嘱期間が8年を超えた在任者の方々～

## 2025年度 会長感謝状を受けられた皆様

田中 伸一(別府西) 木下 恵介(別府西) 福山 一磨(野口) 高橋 光夫(加古川(寺家町))  
木下 裕康(平荘町) 安藤 巧(加古川(篠原町)) 三木 千里(野口北) 白神 暢久(野口)  
奥村 洋一(氷丘南・氷丘) 岡崎 仁祐(鳩里) 田中 俊祐(鳩里) 吉田 和博(西神吉)  
桐村 眞一(川西) 山田 志郎(別府) 笹本 健一(野口南) 兼田 俊郎(平岡東)  
金井 辰己(東神吉南) 磯谷 太郎(加古川(本町)) 朴 明義(東神吉南) 古屋 恵美子(別府西)  
中田 至彦(平岡) 井上 明彦(志方) 石本 政晴(平岡東)

～加古川市人権啓発推進員の委嘱期間が6年を超えた退任者の方々～

敬称略・( )内は小学校区

# ごあいさつ

加古川市人権文化センター教育・啓発係長 三俣 裕子



【三俣 藤原】

今年度、加古川市人権啓発推進員協議会の事務局を担当いたします三俣裕子と申します。推進員の皆さまには地域での啓発活動にご尽力いただき、感謝しております。

私は人権学習を重ねるたび新しい気づきがあり、自分らしく過ごすには人との出会いと距離感が大事だと感じています。市推の皆さまとの出会いを大切に、また皆さまの活動が円滑に進むよう努力しながら、自他を認め互いに尊重しあえるまちづくりに共に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

加古川市人権文化センター教育・啓発係主査 藤原 恵美子

加古川市人権啓発推進員協議会の事務局を担当させていただきます藤原恵美子と申します。

多くの市推の皆さまと接する機会をいただき、皆さまの人権意識の高さや人の温かさを感じると同時に、自分自身がまだまだ知識不足だと痛感しています。

市推の皆さまと共に学び、人権感覚を磨くことで、差別のない明るいまちづくりをすすめるための啓発活動が円滑に進むよう、事務局として努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【今後の研修の予定】

人権フォーラム 2025

【8月17日（日）14：00～ SHOWAグループ市民会館（加古川市民会館）】  
講師 木山 裕策さん（歌手・「home」で第59回NHK紅白歌合戦出場）

第3回全体研修会

【10月7日（火）15：30～・9日（木）19：00～人権文化センター】

明日をひらく人権のつどい

【12月7日（日）13：30～ SHOWAグループ市民会館（加古川市民会館）】  
講師 木村 響子さん（NPO法人 Remember HANA 代表）

## 広報委員の紹介

委員長	土屋 数馬（野 口）	
副委員長	小杉 高司（尾 上）	
委員	関戸 二郎（氷 丘）	神山 典賢（平 岡）
	松盛 美早子（陵 南）	岸本 園子（別 府）
担当役員	槌田 実（副会長）	坂田 亨（副会長）
	小林 由美子（会計）	

本年度、上記のメンバーで市推だより“ヒューマン シティ”を編集発行します

◇◇◇どうぞよろしくお願いいたします◇◇◇